

## 最前線レポート

発行所  
大洋基礎工業(株)  
たいよう新聞委員会

声援

平成二四年四月二六日(木)午前一〇時より本社三階会議室において、第四五期定時株主総会が開催されました。

管内径 φ八〇〇mm  
総延長 四二二・九m  
(両発進)

第一路線 延長 一九七・九m  
推進線形 平面曲線 一一〇〇mR  
CL=二二・三m  
平面曲線 二〇〇mR  
CL=四〇・八m  
勾配 下り 六・〇%

縦断曲線 三〇〇mR  
CL=一七・九m  
縦断曲線 三〇〇mR  
CL=一一・九m  
勾配 上り 六・〇%

第二路線 延長 二三五・〇m  
推進線形 平面曲線 一〇〇mR  
CL=一九・九m  
平面曲線 二五mR

給するものです。作業箇所(発進立坑)は道路上に位置し、作業基地は JAXA 構内の一帯を借りました。JAXA 構内は立入禁止区域や時間制約、工事車両・作業者の入退場管理等様々な規則がありました。仮設事務所は屋外展示の前になり、航空機の YS11、到達立坑内まで歩けば、スペースシャトルの模型、様々な形をした研究施設が並ぶ中での作業でした。

第一路線は、発進式にあたり、東京電力(株)武藏野支社長様にご出席頂き、順調に掘進が始まりました。土質は粘性土層が主体で、深くなるにつれて礫層掘進が想定されましたが、事前に礫ビットを数箇所装備していたため、泥水材の調整により礫層も問題なく掘進を続けられました。順調な掘進も、一五七m付近になると土質が急変し、障害物と接触して推進不能となりま

した。発注者様・(株)関電工様と協議を行い検討の結果、JA X A構内に新たに立坑を設け刃口推進工により迎え掘りを行い、掘進機回収と管路の接合をする事にしました。

工事概要  
薬液注入工 水平注入 一式  
刃口推進工  
(迎掘り・障害物除去・  
掘進機回収)  
土質  
粘性土層・埋め戻し土  
管内径 φ一五〇〇mm  
総延長 二〇・〇m  
推進線形 平面曲線 三七mR  
CL=一八・四m

商品取引法違反で刑罰、経営陣は総退陣、さらに株主様から代表訴訟、監査を行つた監査法人刃口推進工はJAXA構内の限られた位置を立坑としたため、平面線形三七四Rとなりました。また、工期内での作業となるため、掘進機回収作業は当支店の松山主任に一任し、第一路線の掘進機は地山に残地して、第二路線へ設備変更を行い、急曲線掘進機の準備を急ぎました。探査による位置確認を再度行い、掘進機周囲(埋め戻し土)の薬液注入後、刃口推進工は順調に掘進を続け、障害物(H型鋼)までたどり着き、障害物除去、掘進機分割作業、急曲線内での掘進機引出しを行い、管路接合を完了しました。

げております。施工深度を増  
バージョンアップした二号機  
ミニウォール工法、液状化対  
中)の立坑に精度よく到達を  
ました。

両路線共に精度良好で、工事  
内に間に合せることが出来ま  
た。発注者様と元請様の的確  
判断と、当社の対応が円滑に  
えた結果と思われます。

最後に当現場の計画検討及  
施工にあたりご協力頂きまし  
(株)関電工の皆様、協力会  
の皆様、また影ながら支えて  
いた自社関係者皆様には、紙  
をお借りしまして改めてお礼  
し上げます。

正  
車三輪の車が出来た  
ストに勝るは必然。地盤改良から土壤改良まで用途は多岐。これまでまたひとつ成熟企業、一〇〇年企業実現へ心強い営業工種が加わりました。  
きつい、汚い、危険と言われる3K職場に従事する酪農青年が、心を変えるのは心。親孝行をしたい、地域に貢献したい、酪農に携われる人の希望になりたいと心定めたところ苦労が樂しめるようになつて結果も出た。人のために勇気を持つて行動することが最も自分が輝くことを知った、という新聞記事を読みました。

会社に何かをして欲しいとうのではなく、会社のために何ができるかと主体性を持つて職務に励むことこそ自分が輝く、と酪農青年より学習したいものです。

工事名	
ふじみ衛生組合供給管路	C L = 三四・二m 平面曲線 三〇〇m R
工事場所	新設工事
発注者	平面曲線 五〇m R
東京都調布市深大寺6丁目	C L = 二一・八m
（株）関電工様	勾配 下り 一・三%
請負者	縦断曲線 三〇〇m R
工事概要	C L = 一〇・九m
泥漿式推進工法 (アバッヂ工法)	勾配 上り 六・〇%
工事概要	
土質 粘性土質	
エスエスモール工法	
X-A 内へ地中線にて電力を供	
本工事は、六六kv線の一部	
を二回線化し、ふじみ衛生組合	
と宇宙航空研究開発機構（J A	

講長といたしまして社長の依頼により開会宣言された後、決議に必要な議決権の定足数が満たしている事を確認し、続いて監査役会を代表して友村常勤監査役から監査報告がされました。その後事業報告と会計報告を行い決議事項が上程され、第一号議案の剩余金処分の件では当社普通株式一株につき十二円五〇銭を期末配当とし、第二号議案の監査役二名選任の件では現任の友村氏が常勤監査役、一柳氏が非常勤監査役として選任されました。以上の議案が賛成多数により承認可決され株主総会は終了いたしました。

税務は早瀬税理士様、その他多くの方々にご指導いただき厚くお礼申し上げます。そして連日遅くまで決算関連書類の作成に奮闘した管理本部職員の皆さん、ご苦労さまでした。

同日に陸山会事件の判決があり、結果は無罪。いろんな意見があるのでしようが我々の立場からすると、会計書類への虚偽記載は粉飾となります。粉飾決算は担当者が勝手にした、私は無関係、と社長が言っている様に受け止めました。コーポレートガバナンスが厳しく問われる民間企業では同様の場合、金融

さて、四六期第1四半期は厳しいスタートとなりましたが、五月より第2四半期に入りました。昨年着工した大型TDR工事の施工機追加導入や戸建用盤改良工事の施工件数増加に伴い成績は上向きになる見通しです。二月に新設した金沢営業所も推進工事と多孔管注入工事を受注し早くも実績を上げております。また、四月末の土日に社で勉強会と現場見学会を行いました。軽量盛土工事は、関西九州地区で施工中、自社プラドTSC工法も着実に実績を

上工所で伴地本いりをし工廠とし、良い会社基盤を作ろべく協力会社と一緒になり、良質工事が提供できる施工体制を確立します。

当管理本部はきちんとした会計処理とI.R活動の一環でありますたいよう新聞の発行など、信頼安心の砦として守り勝つことを使命と心得え、会社理念であります「社会に貢献できる職場作り」「働いて良かったと言える職場作り」をモットーに成熟企業、一〇〇年企業を目指します。皆様のご声援を宜しくお願ひします。

原子力の火が消えました。時は一時の休みもなく悠久の時を刻んでいます、まさに激動の時代です。再稼働するリスク、しないリスク、廃炉、核燃料棒の最終処分まで国民的議論、検証と課題山積です。我らとしては消極的なようですが、節電に努め合わせて今こそ、太陽光発電の販売強化は社会貢献大と時代の要請に応えたいものです。

五月一〇日、待ちに待つた浅深 Land 4、重点営業工種と定めて5年、岐阜県中津川市に於いて初施工に至りました。搅拌の良否に於いては一軸より二轴、三曲以上四曲が品質、省コ

た持続型分配当が達成できた事は、  
仕事をご発注いただいたお得意  
様と安全で良質工事で支えてい  
ただいた協力会社のおかげと感  
謝しております。

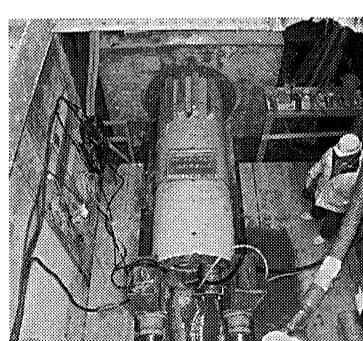
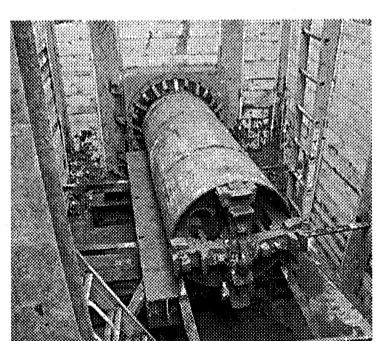
また、管理本部を担当して一  
年、期末決算から株主総会まで  
のプロセスは初めてでありまし

も営業停止など厳しい社会的制裁を受ける事となり、知らなかつたでは済まされません。

日本国という大きな船の舵取りを行うのが国会です。不透明な国会では経済の先行きも不透明となることは必然です。正に明るい方向へ向かうために選良の士

用にも対応できる浅深ランド4  
地盤改良機、戸建住宅用ピュア  
パイル工法など、これから先も  
お客様のニーズにお応えできる  
工種を提供して行く所存です。

五月三日、創業五四年を迎  
いよいよ五五年目に向けスター  
トです。目指すは一〇〇年企業



専務取締役管理本部長

加藤  
行正

会社に何かをして欲しいというのではなく、会社のために何ができるかと主体性を持つて職務に励むことこそ自分が輝く、と酪農青年より学習したいもののです。

きつい、汚い、危険と言われる3K職場に従事する酪農青年が、心を変えるのは心。親孝行をしたい、地域に貢献したい、酪農に携わられる人の希望になりたいと心定めたところ苦労が楽しめるようになつて結果も出た。人のために勇気を持つて行動することが最も自分が輝くことを知った、という新聞記事を読みました。

顧問 豊住 満

